



日新

まこと ひ あら
 苟日新 苟に日に新たに
 ひ あら
 日日新 日々に新たに
 また ひ あら
 又日新 又日に新たなり

出典 「大学」

日新

発行者：誇りと夢・まちづくり日新広報部会
 発行日：2009年12月5日

地区行事から

敬老会 (9/21) 歓びの声

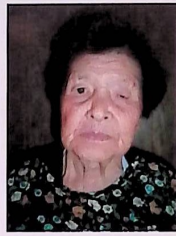


宮島地区 高橋彰さん (90)

身体の不調もなく、毎年の敬老会に参加しています。藤中のブラスバンド演奏や、子どもたちの太鼓が胸に響きました。小学生がくれた手紙に毎年返事を書いています。



文里地区 林まさをさん (90)



乾徳地区 佐藤静子さん (94)

孫が音楽をやっていることもあり、敬老会で演奏を聴くのは興味深いです。ふだんは、お友だちと、公民館のシルバー大学やデイホームに出かけるのが楽しみです。

敬老会では、大勢の人と出会え、今まで知らなかった人とも一緒にご飯を食べながらお話が出来るのが楽しいです。そして後日道などでばったり出会った時は、なおさら嬉しく思います。

一人暮らしでも 娘や近所の人たちのおかげで元気に楽しく過ごしています。



堀ノ宮地区 藤原ふじ子さん(86)

日新地区に「湊新」がなぜ？

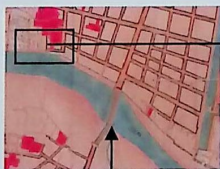
湊地区の自治会ではない。乾徳4丁目にある湊新3自治会である。

江戸時代「三橋地区(現在の湊地区)」は福井城下の湊で、三国通いの舟が発着し藩主のお舟も河岸にあり、九十九橋下手には御舟町という町もあった。明治7年にこの御舟町を湊上町とし、以下中、下の三町に分けた、と稿本福井市史にある。昭和6年にはこの地区の北部の「三橋地方」が新しく福井市に編入したので、この地域は「湊新」と名付けられた。

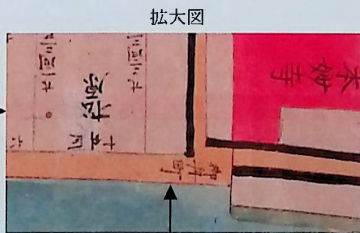
昭和36年8月、住宅表示式となって湊新町の町名は消滅したが、湊新1～湊新6の町内会名としてその名は残り、地区誕生の51年には湊新3～6自治会は日新地区に。平成13年には湊新5と6が合併して湊新6となり、「湊新」は残った。

(※湊地区には上御舟、新御舟、下御舟の自治会がある。)

資料は福井県文書館「福井分間之図」部分図



九十九橋



御舟町

拡大図

この人に聞く

日新地区のなりたち (その2)

中川幾一郎さん (84) 文京5



「地区取り決め」について

福井市の通学地域審議委員会による当初案では、「東は芦原街道、南は松本通り、西は浦方道と日光1～2丁目間道路、そして北は赤川(藤島中の北)」だった。ところが、文京4丁目地域は、子どもが三国芦原線を横断するのは危ないという住民の反対意見が強く、三国線が境になった。

「日光町」地域は、当時の議員さんが調整に努力されたが、根回し不足から地区住民の理解を得られずに、現状に落ち着いた。

堀ノ宮地区は、明里橋通りで二分され、西藤島と日新に半々に割られたのでややこしかった。西藤島の小学生がごっそり日新に移ると、急に児童数が減るので、日新小開校の翌年から、毎年新1年生だけが日新小に入学することになり、兄弟姉妹で違う学校に通う家庭も多くなった。区域の全員が日新小に通学するようになるには開校から7年かかり、堀ノ宮3町内の日新地区加入も昭和58年になってしまった。

このように、様々な紆余曲折を経ながら、新しい日新地区が編成されていった。

右は日新地区図



日新春秋

この地区に住んで7年

日新地区で子育てをして感じるのは、地域全体での子育てが充実していることである。長男、長女共に、公民館の土曜クラブに参加し、楽しく学ばせてもらっている。最近では、お月見だんご作りにも参加した。文里夏祭りでは、和太鼓を習い、学年を越えた交流ができた。地域のボランティアの先生方の温かい、心こもった指導には大変感謝している。

日新小では、一年生の時から、読み、書き、計算を中心に毎日宿題が出る。宿題を毎日させるのは一苦労だ。また、「夏休みの友」など県の先生方手作りの共通教材があることに驚いた。先生方は、丁寧に、根気よく添削してくださる。

体育や芸術教育も充実している。高学年では、福井市連合体育大会や湊小、西藤小と合同の器械運動交歓会に参加し心身が鍛えられる。6年生は、福井市連合音楽会で合唱を披露する。澄んだ歌声は心を揺さぶる。子どもたちは大きな舞台を経験して成長している。

庄司直子

(広報部会)





文里地区 岡田家
約1年前、西藤島地区から引越してきました。中学1年~2歳まで1男3女。4歳直樹は、姉が作ったミニ竹刀を持ち、姉2人に稽古をつけています。(笑)



乾徳地区 畑下家
2歳4ヶ月になった悠真(下段中央)です。いとこのお兄ちゃんたちといしかわ動物園に行きました。3人仲良しです。



宮島地区 木村家
このたび、宮島地区に引越してきました。はじめて二人で生活してお互い色々ありますが・・・長い人生二人でがんばっていきます。皆さん、よろしくお願ひします。



堀ノ宮地区 渡辺家
双子の駿(兄)と菜々香(妹)は今年1年生になりました。家族皆、海やプールが大好きで、夏はいつも日焼けで真黒です。

誇りと夢 わがまち創造事業

一乗谷朝倉氏遺跡を訪ねて 文化部会

11月8日(日)参加者26名が、えちぜん鉄道と越美北線を乗り継ぎ、特別史跡の朝倉氏遺跡を歩きました。10月3日(土)「ふるりの歴史を学ぶ」パート①で、朝倉氏遺跡保存協会会長の岸田清さんから楽しくお話を聞きました。パート②として、現地の見学で、戦国時代において3番目に人口の多い一乗谷城下町の遺跡について認識を新たにしてきました。唐門・義景墓・湯殿跡庭園・中の御殿跡・諏訪館跡庭園・復原町並みなどの説明を聞きながら往時を偲びました。



水の力と草木にふれる 環境部会

11月22日(日)館外学習を実施。今年度は、私たちの生活に欠くことのできない「水」、自然環境創出に大きな力を発揮する「草木」について学習しようと企画した。全国に3つある治水記念館の1つが福井にある。福井市は長年幾多の水害に苦しめられた歴史がある。今日の福井市街地を造り上げたのは、多くの治水事業、施策が執られてきた果実であることを学んだ。又、平成16年の豪雨災害に際しては、全国から大きな支援を受けたと説明があり、互助の精神を強く意識させられた。一方、プラントピア朝日は35種類の樹種別園を散策、樹の持つ特徴・機能を知り、タマネギの皮を使った草木染め、木の実や小枝を使ったウッドクラフトに挑戦、つかの間の童心も味わうことができた。27名の参加者は「多くのことを学び、初めての作製体験に満足した」と喜ばれた。



三世代合同パトロール 防犯部会



10月25日(日)の三世代合同パトロール開催にあたり、62名(大人52名、小学生10名)の方々に参加をいただきまして誠にありがとうございました。今後も、パトロールを通して日新地区が安全安心な地域であるよう、微力ながら努力していきたいと思ひます。

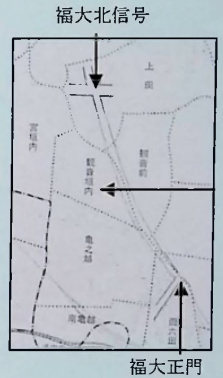
各地区に青色合図灯(パトセーバー)2本とパトロール中の緑の旗が2本づつ配備されました。見守り活動にご利用ください。(公民館で保管しています)



底喰川から観音様 その2

一観音様の居場所がわかった！

11号の「底喰川から観音様」の記事で、この観音様をおまつりした「牧島観音堂」は、西藤島村史により「福井女子高校付近に観音堂という地名がある」とお知らせした。更に福井県史で探ると芦原街道と啓新高校の間、福大正門とその北の信号の間ぐらひのところに「観音垣内」と「観音前」の小字名が明示されていた。この観音垣内の道沿いに観音堂があったと思われる。藩政時代、この地が芝居や大曲馬で賑わったと思うと・・・



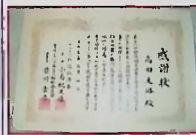
(福井県史資料編 16条里復原図 No39 地図参考)

トピックス

音訳奉仕活動で表彰

高田大路さん(乾徳2)

「はい高田でございます。」電話の向こうに聞こえる凛とした中に張りのある元気な声の持ち主が高田さん。音訳奉仕という地道な活動を24年続けて今回の表彰(鉄道弘済会、日本盲人福祉委員会主催 朗読録音部門)となった。好きな読書を活かして人に喜んでもらえるならと始め「※県音訳こだまの会」に所属、これまでに制作した図書は小説・専門書・歌集など258冊に及ぶという。「自宅のパソコンを使用するので、これからもできる限り続けていきたい。」と謙虚な笑顔で話された。



※県視覚障害者福祉協会情報提供センター養成講座の修了生で構成する。

【編集後記】

最終の編集部会が遅れて11月28日になり、印刷屋さんへ手渡す約束日も迫った中せわしく校正に校正をと吟味しましたが・・・。新人2名(鈴木・庄司)の積極的な活動は頼もしい限りです。インフルエンザの予防にも心がけ、明るい気分で新年を迎えたいものです。次号は3月5日発行予定です。